

2 届出書類の記入例及び記入上の注意

記入にあたっては、次の記入例を参考にしてください。

(1)

様式第四

公共下水道使用開始(変更)届

令和〇年 4月 1日

川崎市上下水道事業管理者 殿

申請者

住所 川崎市川崎区宮本町1番地

電話番号 044-200-2111

氏名又は名称及び法人にあってはその代表者の氏名

川崎産業株式会社 代表取締役 川崎 太郎

次のとおり公共下水道の使用を開始(変更)するので届け出ます。

排除場所	川崎区 宮本町 丁目 1番		号地先	排水口数	2
排出汚水の水量又は水質	水量 水質	月平均 500	立方メートル	日最大 30	立方メートル
開始(変更)年月日	令和〇年 6月 1日				
処理方法	中和法		施設名称	中和処理施設	

記

項目	排水口 月量	No. 1	No. 2	立方メートル	立方メートル	単位
		300 立方メートル	200 立方メートル			
温度						度
アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素含有量						mg/L
水素イオン濃度		6.8	7.2			水素指数
生物化学的酸素要求量						mg/L
浮遊物質						mg/L
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	鉱油類 動植物油脂類					mg/L
窒素含有量						mg/L
燐含有量						mg/L
沃素消費量						mg/L
カドミウム及びその化合物						mg/L
シアン化合物						mg/L
有機燐化合物						mg/L
鉛及びその化合物						mg/L
六価クロム化合物						mg/L
砒素及びその化合物						mg/L
水銀及び有機水銀その他の水銀化合物						mg/L
アルキル水銀化合物						mg/L
ポリ塩化ビフェニル						mg/L
トリクロロエチレン						mg/L
テトラクロロエチレン						mg/L
ジクロロメタン						mg/L
四塩化炭素						mg/L
1,2-ジクロロエタン						mg/L
1,1-ジクロロエチレン						mg/L
シス-1,2-ジクロロエチレン						mg/L
1,1,1-ジクロロエタン						mg/L
1,1,2-ジクロロエタン						mg/L
1,3-ジクロロプロペン						mg/L
チラウム						mg/L
シマジン						mg/L
チオベンカルブ						mg/L
ベンゼン						mg/L
セレン及びその化合物						mg/L
ほう素及びその化合物						mg/L
ふっ素及びその化合物						mg/L
1,4-ジオキサン						mg/L
フェノール類						mg/L
銅及びその化合物		0.2	0.1			mg/L
亜鉛及びその化合物						mg/L
鉄及びその化合物(溶解性)						mg/L
マンガン及びその化合物(溶解性)						mg/L
クロム及びその化合物						mg/L
ダイオキシン類						pg-TEQ/L
※ニッケル及びその化合物						mg/L
摘要		別添のとおり	別添のとおり			

備考1 ※印のある欄は、令第9条の11第1項第6号に該当する項目について記載すること。

2 「摘要」の欄は、排出汚水の水量又は水質の推定の根拠等を記載すること。

3 除害施設の設置等を要する場合には、その概要を明らかにする図書及び図面を添付すること。

記入上の注意

この様式は、使用の「開始」及び「変更」の両方の場合に併用するので該当しない方を抹消してください。

- (1) 「年月日」
届出を行う年月日を記入してください。
- (2) 「申請者の住所、電話、氏名」
 - ① 法人の場合は、本社等の所在地又は当該届出事業場の所在地を記入してください。
 - ② 申請者が個人にあつては、屋号を含めて記入してください。
 - ③ 申請者が法人にあつては、名称及び代表者の肩書き及び氏名を記入してください。
- (3) 「排除場所」
公共下水道を使用する事業場の所在地を記入してください。
- (4) 「排水口数」
公共下水道への排出口の数を記入してください。
- (5) 「排出汚水の水量」
過去1年間の平均月量及び日最大量とし、新設の場合は推定量を記入してください。
- (6) 「開始（変更）年月日」
使用開始又は変更を行おうとする年月日を記入してください。
- (7) 「処理方法」、「施設名称」
水質項目別に処理方法を記入してください。例えば、処理方法は中和法、施設名称は中和処理施設と記入してください。
- (8) 「項目」
作業工程において使用する原材料、薬品等から判断して水質項目を定めその分析値または推定値を記入してください。
- (9) 「排水口」
公共下水道への排出口の呼称を決め No. 1、No. 2 等と記入してください。
- (10) 備考2 及び備考3 に基づく書類
次の項目について事業場排水調査票（P30）を記入し、必要に応じて添付書類を作成してください。
 - ① 事業場の概要
 - ② 除害施設の計画説明・維持管理計画

事業場排水調査票

事業場の概要図書	事業場名	川崎産業株式会社 かわさきサービスステーション						
	担当者	所属部署	川崎産業株式会社 事業本部			氏名	川崎 太郎	
		電話	044-200-△△△△			Eメール	kawakitarou@sekiyu.jp	
	事業場所在地	〒210-8577			(事業場の位置) 添付資料1のとおり			
		(事業場の平面図) 添付資料2のとおり				川崎市 川崎区 宮本町 丁目 1番 号地		
	操業時間 (休業日)	9:00~18:00 (火曜日)	資本金	1,000万円	従業員数	5人 (全社 16人)	敷地面積	420 m ²
	操業内容・業種	ガソリンスタンド・小売業			製品名	ガソリン、灯油		
	原材料 (消耗資材を 含む) の種類	(使用原料・薬品等の名称)			(使用量)			
		(使用原料・薬品等の名称)			(使用量)			
		(使用原料・薬品等の名称)			(使用量)			
(使用原料・薬品等の名称)			(使用量)					
排水の種類及び量	生活系排水 (1 m ³ /日)			工程系排水 (4 m ³ /日)				

除害施設の計画説明図書・維持管理計画図書	汚水排出施設の概要	施設の名称	手洗い洗車場、整備場、給油所					
		設置位置	添付資料2のとおり		構造図	添付資料3のとおり		
		汚水を排出する施設の使用 方法	添付資料3のとおり					
		汚水の量及び水質	添付資料4のとおり					
	除害施設の概要	施設の名称	油水分離槽					
		設置位置	添付資料2のとおり		構造図	添付資料5のとおり		
		運転	00:00~24:00		水質管理	様式第四又は第2号様式 に記載した項目		
		汚水の処理方法	添付資料6のとおり					
		処理コスト	(使用薬品・材料等の名称) オイル吸着マット			(使用量)	3枚/月	
	(使用薬品・材料等の名称)			(使用量)				
(使用薬品・材料等の名称)			(使用量)					
(使用薬品・材料等の名称)			(使用量)					
用水及び排水の系統図	添付資料2のとおり		用水及び排水のバランスシート	添付資料7のとおり				
廃棄物の処理処分方法及び処理コスト	発生する産業廃棄物 ※該当する方に○		(有) / 無)	産業廃棄物処理委託契約書(写) のとおり				

記入上の注意

(1) 「事業場の概要図書」

① 「従業員数」

届出の対象となっている事業場の従業員数を記入し、本社等がある場合は全従業員数を（ ）内に記入してください。

② 「原材料」

使用する原材料を種類別に記入してください。製品名を記入する場合は、SDS（Safety Data sheet、安全データシート）等の成分表を添付してください。使用量は、1日当たりの平均使用量を記入してください。

(2) 「除害施設の計画説明図書・維持管理計画図書」

① 「除害施設の名称」

処理対象汚水、処理機能などから判断し、例えば、中和処理施設、油水分離槽などと記入してください。

② 「運転」

使用時間、運転方法（連続式・間欠式）等を記入してください。

(3) 「添付書類」

次の書類を作成し添付してください。

① 事業場の位置

事業場付近の道路、目印となるもの及び鉄道等を分かりやすく記入してください。

② 事業場の平面図

汚水排出施設や除害施設の位置及び排水口の位置並びに用水・排水の系統を記入し、用水・排水の系統についてはその名称と色分けを行ってください。

③ 汚水排出施設の使用方法及び構造図

④ 汚水排出施設における汚水の量及び水質

作業工程、使用原材料等から判断して該当する項目を定め、その分析値または推定値を記入してください。

⑤ 除害施設の構造図

⑥ 汚水の処理方法

処理の工程図及び概要を記入してください。

⑦ 用水及び排水のバランスシート

※その他、「産業廃棄物処理契約書の写し」、「SDS等の成分表」等が必要な場合は、添付してください。

(2)

様式第五

公共下水道使用開始届

令和〇年 4月 1日

川崎市上下水道事業管理者 殿

申請者

住 所 川崎市川崎区宮本町2番地 電話番号 044-200-2112

氏名又は名称及び
法人にあっては
その代表者の氏名

川崎産業所 株式会社
代表取締役 川崎 一郎

次のとおり公共下水道の使用を開始するので、届け出ます。

排 除 場 所	川崎区 宮本町 丁目 2番 号地先
排 水 口 数	2
開 始 年 月 日	令和〇年 6月 1日
特定施設の種類	66 電気めつき施設

備考 「特定施設の種類」の欄は、水質汚濁防止法施行令（昭和46年政令第188号）別表第一及びダイオキシン類対策特別措置法施行令（平成11年政令第433号）別表第二に掲げる号番号及び名称を記載すること。

記入上の注意

(1) 「年月日」

届出を行う年月日を記入してください。

(2) 「申請者の住所、電話、氏名」

① 法人の場合は、本社等の所在地又は当該届出事業場の所在地を記入してください。

② 申請者が個人にあつては、屋号を含めて記入してください。

③ 申請者が法人にあつては、名称及び代表者の肩書き及び氏名を記入してください。

(3) 「排除場所」

公共下水道を使用する事業場の所在地を記入してください。

(4) 「排水口数」

公共下水道への排出口の数を記入してください。

(5) 「開始年月日」

使用を開始する年月日を記入してください。

(6) 「特定施設の種類」

水質汚濁防止法施行令別表第1(P10～14)及びダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第2(P15)に掲げる特定施設番号及び施設名を記入してください。

※ この届出は、特定事業場が公共下水道を使用するにあたり提出するものですが、この他に特定施設設置届又は特定施設使用届の提出が必要です。

(3)

様式第六

特定施設設置届出書

令和〇年 4月 1日

川崎市上下水道事業管理者 殿

申請者

住 所 **川崎市川崎区宮本町2番地** 電話番号 **044-200-2112**

氏名又は名称及び
法人にあっては
その代表者の氏名

川崎産業所 株式会社
代表取締役 川崎 一郎

下水道法第12条の3第1項の規定により、特定施設の設置について、次のとおり届け出ます。

工場又は 事業場の名称	川崎産業所 株式会社 川崎工場	※整理番号	
工場又は 事業場の所在地	川崎市川崎区宮本町3番地	※受理年月日	年 月 日
特定施設の種別	66電気めつき施設	※施設番号	
△特定施設の構造	別紙(1)のとおり。	※備考	
△特定施設の使用の方法	別紙(2)のとおり。		
△汚水の処理の方法	別紙(3)のとおり。		
△下水の量及び水質	別紙(4)のとおり。		
△用水及び排水の系統	別紙(5)のとおり。		

備考1 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。

2 ※印の欄には、記載しないこと。

3 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

記入上の注意

(1) 「年月日」

届出を行う年月日を記入してください。

(2) 「申請者の住所、電話、氏名」

① 法人の場合は、本社等の所在地又は当該届出事業場の所在地を記入してください。

② 申請者が個人にあつては、屋号を含めて記入してください。

③ 申請者が法人にあつては、名称及び代表者の肩書き及び氏名を記入してください。

(3) 「工場又は事業場の名称」及び「工場又は事業場の所在地」

当該特定施設を設置しようとする事業場の名称及び所在地を記入してください。

(4) 「特定施設の種類」

水質汚濁防止法施行令別表第1(P10～14)及びダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第2(P15)に掲げる特定施設番号及び施設名を記入してください。

(5) 「△特定施設の構造」等

① 「特定施設の構造」 別紙(1) (P40)

② 「特定施設の使用方法」 別紙(2) (P42)

③ 「汚水の処理の方法」 別紙(3) (P45)

④ 「下水の量及び水質」 別紙(4) (P51)

⑤ 「用水及び排水の系統」 別紙(5) (P52)

⑥ 「参考事項」 別紙(6) (P53)

を添付してください。

(4)

様式第七

特定施設使用届出書

令和〇年 4月 1日

川崎市上下水道事業管理者 殿

申請者

住 所 川崎市川崎区宮本町4番地 電話番号 044-200-2113

氏名又は名称及び
法人にあっては
その代表者の氏名

川崎産業所 株式会社
代表取締役 川崎 二郎

{ ~~下水道法第12条の3第2項~~
下水道法第12条の3第3項 } の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は 事業場の名称	川崎産業所 株式会社 川崎工場	※整理番号	
工場又は 事業場の所在地	川崎市川崎区宮本町5番地	※受理年月日	年 月 日
特定施設の種別	66電気めつき施設	※施設番号	
△特定施設の構造	別紙(1)のとおり。	※備考	
△特定施設の使用の方法	別紙(2)のとおり。		
△汚水の処理の方法	別紙(3)のとおり。		
△下水の量及び水質	別紙(4)のとおり。		
△用水及び排水の系統	別紙(5)のとおり。		

備考1 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。

2 ※印の欄には、記載しないこと。

3 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格 A4 とすること。

記入上の注意

(1) 「年月日」

届出を行う年月日を記入してください。

(2) 「申請者の住所、電話、氏名」

① 法人の場合は、本社等の所在地又は当該届出事業場の所在地を記入してください。

② 申請者が個人にあつては、屋号を含めて記入してください。

③ 申請者が法人にあつては、名称及び代表者の肩書き及び氏名を記入してください。

(3) 記入方法は、特定施設設置届と同じですが、公共下水道を使用して新たに事業場の施設が特定施設として追加された場合は、下水道法第12条の3第2項、既に特定施設を設置し、新たに公共下水道に下水を排除する場合は、下水道法第12条の3第3項が適用されるため、該当しない方を抹消してください。

(4) 「工場又は事業場の名称」及び「工場又は事業場の所在地」

当該特定施設を使用する事業場の名称及び所在地を記入してください。

(5) 「特定施設の種類」

水質汚濁防止法施行令別表第1(P10～14)及びダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第2(P15)に掲げる特定施設番号及び施設名を記入してください。

(6) 「△特定施設の構造」等

① 「特定施設の構造」 別紙(1) (P40)

② 「特定施設の使用方法」 別紙(2) (P42)

③ 「汚水の処理の方法」 別紙(3) (P45)

④ 「下水の量及び水質」 別紙(4) (P51)

⑤ 「用水及び排水の系統」 別紙(5) (P52)

⑥ 「参考事項」 別紙(6) (P53)

を添付してください。

(5)

様式第八

特定施設の構造等変更届出書

令和〇年 4月 1日

川崎市上下水道事業管理者 殿

申請者

住 所 川崎市川崎区宮本町2番地 電話番号 044-200-2112

氏名又は名称及び
法人にあっては
その代表者の氏名

川崎産業所 株式会社
代表取締役 川崎 一郎

下水道法第12条の4の規定により、特定施設の構造等の変更について、次のとおり届け出ます。

工場又は 事業場の名称	川崎産業所 株式会社 川崎工場	※整理番号	
工場又は 事業場の所在地	川崎市川崎区宮本町3番地	※受理年月日	年 月 日
特定施設の種類	66電気めつき施設	※施設番号	
△特定施設の構造 (特定施設の使用の方法、 汚水の処理の方法、 下水の 量及び水質、用水及び排水 の系統)	別紙のとおり。	※審査結果	
		※備考	

備考1 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。

2 ※印の欄には、記載しないこと。

4 変更のある部分については、変更前及び変更後の内容を対照されるものとする。

3 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

記入上の注意

(1) 「年月日」

届出を行う年月日を記入してください。

(2) 「申請者の住所、電話、氏名」

① 法人の場合は、本社等の所在地又は当該届出事業場の所在地を記入してください。

② 申請者が個人にあつては、屋号を含めて記入してください。

③ 申請者が法人にあつては、名称及び代表者の肩書き及び氏名を記入してください。

(3) 「工場又は事業場の名称」及び「工場又は事業場の所在地」

当該特定施設を変更しようとする事業場の名称及び所在地を記入してください。

(4) 「特定施設の種類」

水質汚濁防止法施行令別表第1(P10～14)及びダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第2(P15)に掲げる特定施設番号及び施設名を記入してください。

(5) 「△特定施設の構造」

変更する事項以外は抹消して、構造等変更の概要を作成した上で別紙(1)～(6)(P40～53)に変更前後の内容を記載し、それぞれ添付してください。

1 特定施設の構造

イ. 特定施設の型式、構造、主要寸法及び能力並びに当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置

名 称	型 式	構 造	主 要 寸 法	能 力	備 考
66電気めつき施設			L W H	1,500個/時間	
①脱脂槽	浸漬式	鉄製ゴム内張	2,000×1,000×1,200	有効容量 2m ³	1槽
②電解脱脂槽	〃	〃	2,000×1,000×1,200	2m ³	1〃
③水洗槽	〃	〃	1,000×1,000×1,200	1m ³	10〃
④酸洗槽	〃	〃	2,000×1,000×1,200	2m ³	1〃
⑤中和槽	〃	〃	1,000×1,000×1,200	1m ³	1〃
⑥亜鉛めつき槽	〃	〃	7,450×2,000×1,200	14.9m ³	1〃
⑦回収槽	〃	〃	1,000×1,000×1,200	1m ³	1〃
⑧硝酸槽	〃	〃	1,000×1,000×1,200	1m ³	1〃
⑨ユニクローム槽	〃	〃	1,000×1,000×1,200	1m ³	1〃
⑩クロメート槽	〃	〃	1,000×1,000×1,200	1m ³	1〃
⑪湯洗槽	〃	〃	1,000×1,000×1,200	1m ³	1〃

（配置は、添付第 1 図のとおり。）

記入上の注意

(1) 「特定施設の型式、構造、主要寸法及び能力並びに当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置」

① 「名称」

特定施設の番号及び名称（表-4-1及び表-4-2（P10～15）参照）並びに当該特定施設を構成する各種装置を記入してください。

② 「型式」・「構造」・「主要寸法」

特定施設を構成する各種装置別に記入してください。

③ 「能力」

主な製品名、大きさ並びに単位時間あたりに製造又は加工等ができる数量を記入してください。

④ 「備考」

特定施設及び各種装置の数その他必要な事項を記入してください。

※事業場内の特定施設の配置図を添付図-1（P55）として添付してください。

ロ. 特定施設に係る工事の着手及び完成の予定年月日並びに特定施設の使用開始の予定年月日

工事着手予定年月日	令和 ○年 6月 1日
工事完成予定年月日	令和 ○年 6月 30日
使用開始予定年月日	令和 ○年 7月 1日

ハ. その他参考事項

業 種	金属製品製造業（電気めつき業）
操業開始年月日	昭和40 年 10月 1日
公共下水道使用 開 始 年 月 日	昭和55 年 4月 1日

記入上の注意

- (2) 「特定施設に係る工事の着手及び完成の予定年月日並びに特定施設の使用開始の予定年月日」
「年月日」は、特定施設の設置又は特定施設の構造等変更の場合に記入してください。
- (3) 「その他参考事項」
「業種」は、日本標準産業分類による中分類に該当する業種を記入してください。

別紙（2）

2 特定施設の使用方法

イ．特定施設の設置場所（添付第 2 図のとおり。）

ロ．特定施設を含む操業の系統（添付第 1 表のとおり。）

ハ．特定施設の使用時間間隔及び1日当たりの使用時間並びにその使用の季節的変動の概要

名 称	使用時間間隔	1日当たりの使用時間	季節変動の概要	備 考
66電気めつき施設	午前8:00～午後12:00 午後1:00～午後5:00	8時間	7～9月(夏季)少ない。 3～5月(春季)多い。	

記入上の注意

(1) 「特定施設の設置場所」

添付図－2（P56）で事業場全体図（平面図）に特定施設・処理を要する排水に関わる施設の設置場所及び事業場汚水と用水の系統を色分けして記入してください。また、汚水及び用水の系統には下水に関連する排水口の位置及び番号又は名称を記入してください。

(2) 「特定施設を含む操業の系統」

添付表－1（P59）に特定施設を含めた原料から製品までの作業工程（フローシート）を記入してください。その場合汚水、用水及び給水の個所を明記してください。

(3) 「特定施設の使用時間間隔及び1日当たりの使用時間並びにその使用の季節的変動の概要」

① 「名称」

特定施設の番号及び名称を記入してください。

② 「使用時間間隔」

通常に特定施設を使う時間帯を記入してください。

③ 「1日当たりの使用時間」

1日当りに特定施設を使う延べ時間を記入してください。

④ 「季節的変動の概要」

週間、月間、年間等で大きな変動がある場合に記入してください。

⑤ 「備考」

変更届の際は、何が変更になったのかを記入してください。

ニ. 特定施設を含む作業工程において使用する原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量

名称	使用原材料の種類	使用方法	1日当たりの使用量	備考
66電気めつき施設	塩酸 エースクリーンD	20% 水溶液として酸洗用 20g/L " 脱脂用	10 kg 5 kg	〇〇樹脂製 □□樹脂製、 SDS 別途添付 △△樹脂製、 有害物質に該当
	青化ソーダ	10g/L " 亜鉛めつき用	10 kg	

(参考) 特定施設の使用時において、当該特定施設から排出される汚水を回収委託処理する際の概要

汚水の種類	汚水量 (m ³ /日)	処理の方法の概要	備考
めつき濃厚廃水	2 m ³ /月	ポリタンクに入れて自社内に保管後、産業廃棄物処理業者に委託処分 収集運搬業者 : (株)産廃 処分業者 : (株)産廃センター	産業廃棄物処理委託契約書(写)別紙のとおり

記入上の注意

- (4) 「特定施設を含む作業工程において使用する原材料（消耗資材を含む）の種類、使用方法及び1日当たり使用量」
- ① 「名称」
特定施設の番号及び名称を記入してください。
 - ② 「使用原材料の種類」
特定施設において使用する原材料を種類別に記入してください。製品名を記入する場合はSDS(Safety Data sheet 安全データシート)等の成分表を添付してください。
 - ③ 「使用方法」
②で列挙した原材料別にその使用濃度及び用途を記入してください。複数の用途があるものについては用途ごとに記入してください。
 - ④ 「1日当たりの使用量」
原材料別に1日当たりの平均使用量を記入してください。
 - ⑤ 「備考」
成分、交換の頻度、有害物質に該当するかどうか等参考事項を記入してください。
- (5) 「特定施設の使用時において、当該特定施設から排出される汚水を回収委託処理する際の概要」
- ① 「汚水の種類」
特定施設から排出され、回収委託処理する汚水を種類ごとに記入してください。
 - ② 「汚水量」
回収委託処理する汚水量を種類ごとに記入してください。
 - ③ 「処理の方法の概要」
回収委託処理する汚水の種類ごとに、保管方法、収集運搬業者名、処分業者名を記入してください。また産業廃棄物処理委託契約書の写しがあれば添付してください。

ホ. 特定施設の使用時において、当該特定施設から排出される汚水の水質及び水量

水量・水質 特定施設名		水 質																					
		汚水量 (m ³ /日)		pH		BOD (mg/L)		SS (mg/L)		ノルマルヘキサン抽出物質 (mg/L)				窒素 (mg/L)		燐 (mg/L)		よう素濃度 (mg/L)		フェノール (mg/L)		銅 (mg/L)	
		通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	鉱油類		動物油脂類		通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
66 電気めつき施設																							
シアン系		5	7	10.5	11.5																		
クロム系		2	3	3.0	2.5																		
酸・アルカリ系		2	3	4.5	3.0																		

水 質																									
亜鉛 (mg/L)		溶解性鉄 (mg/L)		溶解性マンガン (mg/L)		クロム (mg/L)		ニッケル (mg/L)		(mg/L)		(mg/L)		カドミウム (mg/L)		シアン (mg/L)		有機リン (mg/L)		鉛 (mg/L)		六価クロム (mg/L)		ヒ素 (mg/L)	
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
100	200															100	150							30	50
20	30					30	50																		
10	20																								

水 質																									
水銀 (mg/L)		アルキル水銀 (mg/L)		ポリ塩化ビフェニル (mg/L)		トリクロロエチレン (mg/L)		テトラクロロエチレン (mg/L)		ジクロロメタン (mg/L)		四塩化炭素 (mg/L)		1,2-ジクロロエタン (mg/L)		1,1-ジクロロエチレン (mg/L)		シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)		1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)		1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)		1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大

水 質																									
チラウム (mg/L)		シマジン (mg/L)		チオホルム (mg/L)		ベンゼン (mg/L)		セレン (mg/L)		ほう素 (mg/L)		ふつ素 (mg/L)		1,4-ジチオ (mg/L)		ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)									
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大

へ. その他の参考事項

記入上の注意

(6) 「特定施設の使用時において、当該特定施設から排出される汚水の水質及び水量」

① 「特定施設名」

特定施設の番号及び名称（表-4-1及び表-4-2 (P10~15)参照）を記入してください。（汚水を系統的に区分して記入してください。）

② 「汚水量」

特定施設からの汚水量を記入してください。

③ 「水質」

作業工程、使用原材料等から判断して該当する項目を定め、その分析値または推定値を記入してください。

3 汚水の処理の方法

イ. 汚水の処理施設（除害施設）の設置場所（添付第 2 図のとおり。）

ロ. 汚水の処理施設（除害施設）に係る工事の着手及び完成の予定年月日並びに使用の開始の予定年月日

工事着手予定年月日	令和 ○年 6月 1日
工事完成予定年月日	令和 ○年 6月 30日
使用開始予定年月日	令和 ○年 7月 1日

ハ. 汚水の処理施設（除害施設）の種類、型式、構造、主要寸法及び能力並びに汚水の処理の方式

種類	型式	構造	主要寸法	能力 (m ³ /日)	処理の方法	備考
めっき廃水処理施設 A シアン系原水槽 B シアン系 1 次反応槽 D シアン系 2 次反応槽 F クロム系原水槽 G クロム系還元槽 H 酸アルカリ系原水貯槽 I pH 調整槽 J 沈殿槽	自動連続式	鉄筋コンクリート 耐酸仕上 鉄製塩ビ張	1800×1800×2000 1000×1000×1300 1300×1300×1600 1500×1500×1500 800×800×1000 1600×1600×2000 1000×1000×1200 2000×2000×3000	10 時間/日 5m ³ 1m ³ 2m ³ 2m ³ 0.5m ³ 4m ³ 1m ³ 9m ³	酸化分解 還元 中和 薬品沈殿ろ過	詳細は、 別紙仕様書 のとおり。

(配置は添付第 3 図のとおり。)

記入上の注意

- (1) 「汚水の処理施設（除害施設）の設置場所」
添付図ー 2（P56）に記入してください。
- (2) 「汚水の処理施設（除害施設）に係る工事の着手及び完成の予定年月日並びに使用の開始の予定の予定年月日」
除害施設の新設又は構造等の変更の場合に記入してください。
- (3) 「汚水の処理施設（除害施設）の種類、型式、構造、主要寸法及び能力並びに汚水の処理の方法」
 - ① 「種類」
除害施設の名称は処理対象汚水、処理機能などから判断し記入してください。
 - ② 「型式」・「構造」・「主要寸法」
除害施設を構成する各種装置別に記入してください。
 - ③ 「能力」
設計上の能力 1 日（稼動時間）当りの数値を記入してください。また、槽などは有効容量を記入してください。
 - ④ 「処理の方法」
汚水の種類ごとに方法名を記入してください。

ニ. 汚水の処理の系統（添付第 4 図のとおり。）

シアン系汚水及びクロム系汚水は別々に処理し、酸・アルカリ系汚水とともに凝集沈殿後、上澄水はろ過・中和して排除する。
沈殿槽の污泥は脱水機（フィルタープレス）にて処理後、業者委託処分とする。

ホ. 汚水の集水及び汚水の処理施設（除害施設）までの導水の方法（添付第 1, 2 図のとおり。）

クロム・シアン及び酸・アルカリ系汚水はそれぞれ塩ビ管により導水する。
特定施設等からオーバーフローした床面汚水はU字溝及び角マスに集水し塩ビ管で導水する。
床面は耐水耐食加工し、地下浸透を防止すると共に、防液堤を設けて系統分離する。

記入上の注意

- (4) 「汚水の処理の系統」
処理の概要を記入し、添付図－4（P58）に処理系統を色分けしてください。
- (5) 「汚水の集水および汚水の処理施設（除害施設）までの導水の方法」
汚水の集水及び導水の概要を記入し、添付図－2（P56）に系統別に色分けしてください。

へ. 汚水の処理施設（除害施設）の使用時間間隔及び1日当たり使用時間並びにその使用の季節的変動の概要

処理施設（除害施設）の名称	使用時間間隔	1日当たりの使用時間	季節変動の概要	備考
めっき廃水処理施設	8:00~18:00	10時間	7~9月(夏季)少ない。 3~5月(春季)多い。	週4日稼働

ト. 汚水の処理施設（除害施設）において使用する消耗資材の1日当たりの用途別使用量

処理施設（除害施設）の名称	消耗資材名	用途別	1日当たりの使用量	備考
めっき廃水処理施設	次亜塩素酸ソーダ	シアン分解用	10 kg	使用濃度 5%
	重亜硫酸ソーダ	クロム還元用	5 "	使用濃度 10%
	苛性ソーダ	pH調整用	2 "	使用濃度 5%
	消石灰	"	2 "	使用濃度 10%
	硫酸	"	5 "	使用濃度 5%
	有機高分子凝集剤 (アコーフロック 302)	凝集用	10 L	〇〇製

記入上の注意

(6) 「汚水の処理施設（除害施設）の使用時間間隔及び1日当たりの使用時間並びにその使用の季節的変動の概要」

① 「処理施設（除害施設）の名称」

名称は3汚水の処理の方法ハ（P45）の種類と同じ名称を記入してください。

② 「使用時間間隔」

除害施設の稼働時間帯を記入してください。間欠式運転の場合はそれぞれの時間帯を記入してください。

③ 「1日当たりの使用時間」

1日当たりの除害施設の延べ運転時間を記入してください。

④ 「備考」

稼働日数を記入してください。

(7) 「汚水の処理施設（除害施設）において使用する消耗資材の1日当たりの用途別使用量」

① 「消耗資材名」

除害施設の稼働に必要な薬品等を記入してください。（電気、上水、ガスは記入不要）

② 「用途別」

消耗資材別に用途を記入してください。1つの資材で複数の用途のあるものについてはそれぞれ記入してください。

③ 「1日当たり使用量」

消耗資材別の使用量を記入してください。

④ 「備考」

消耗資材のメーカー及び薬品の使用濃度を記入してください。

チ. 汚水の処理施設（除害施設）による処理前及び処理後の汚水の水質及び水量

水量・水質 処理施設名 (除害施設名)	汚水量 (m ³ /日)		処 理 前 水 質																					
			pH		BOD (mg/L)		SS (mg/L)		ノルマルヘキサン 抽出物質(mg/L)				窒素 (mg/L)		燐 (mg/L)		よう素濃度 (mg/L)		フェノール (mg/L)		銅 (mg/L)			
	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大		
めっき廃水処理施設																								
シアン系	5	7	10.5	11.5																				
クロム系	2	3	3.0	2.5																				
酸・アルカリ系	2	3	4.5	3.0																				

処 理 前 水 質																											
亜鉛 (mg/L)		溶解性鉄 (mg/L)		溶解性 マンガン (mg/L)		クロム (mg/L)		ニッケル (mg/L)		(mg/L)		(mg/L)		カドミウム (mg/L)		シアン (mg/L)		有機リン (mg/L)		鉛 (mg/L)		六価クロム (mg/L)		ヒ素 (mg/L)			
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
100	200					30	50									100	150							30	50		

処 理 前 水 質																											
水銀 (mg/L)		アルキル 水銀 (mg/L)		ポリ塩化 ビフェニル (mg/L)		トリクロロ エチレン (mg/L)		テトラクロ ロエチレン (mg/L)		ジクロロ メタン (mg/L)		四塩化炭素 (mg/L)		1,2-ジクロ ロエタン (mg/L)		1,1-ジクロ ロエチレン (mg/L)		シス-1,2-ジ クロエチレン (mg/L)		1,1,1-トリ クロエタン (mg/L)		1,1,2-トリ クロエタン (mg/L)		1,3-ジクロ ロプロペン (mg/L)			
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大

処 理 前 水 質																											
チラウム (mg/L)		シマジン (mg/L)		チオホルム (mg/L)		ベンゼン (mg/L)		セレン (mg/L)		ほう素 (mg/L)		ふつ素 (mg/L)		1,4-ジメチル (mg/L)		ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)											
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大

記入上の注意

(8) 「汚水の処理施設（除害施設）による処理前及び処理後の汚水の水質及び水量」

① 「汚水量」

除害施設での処理系統が複数である場合は、その系統ごとに汚水量を記入してください。（この汚水量は除害施設の処理前後の水量のことであり、特定施設からの汚水量とは一致しない場合があります。）

② 「処理前水質」

作業工程、使用原材料等から判断して該当する項目を定め、その分析値または推定値を記入してください。

③ 「処理後水質」

②と同様に記入してください。

水量・水質 処理施設名 (除害施設名)	処理後水質																					
	汚水量 (m ³ /日)		pH		BOD (mg/L)		SS (mg/L)		ノルマルヘキサン 抽出物質(mg/L)				窒素 (mg/L)		燐 (mg/L)		よう素濃度 (mg/L)		フェノール (mg/L)		銅 (mg/L)	
	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
めっき廃水処理施設	9	13	7	5.8 ~ 8.6																		

処理後水質																									
亜鉛 (mg/L)		溶解性鉄 (mg/L)		溶解性 マンガン (mg/L)		クロム (mg/L)		ニッケル (mg/L)		(mg/L)		(mg/L)		カドミウム (mg/L)		シアン (mg/L)		有機リン (mg/L)		鉛 (mg/L)		六価クロム (mg/L)		ヒ素 (mg/L)	
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
0.1	<1.0					0.5	<1.0									0.2	<1.0					0.05	<0.5		

処理後水質																			
水銀 (mg/L)	アルキル 水銀 (mg/L)	ポリ塩化 ビフェニル (mg/L)	トリクロロ エチレン (mg/L)	テトラクロ ロエチレン (mg/L)	ジクロロ メタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロ ロエタン (mg/L)	1,1-ジクロ ロエチレン (mg/L)	シス-1,2-ジ クロエチレン (mg/L)	1,1,1-トリ クロエタン (mg/L)	1,1,2-トリ クロエタン (mg/L)	1,3-ジクロ ロプロペン (mg/L)							
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大

処理後水質																			
チラウム (mg/L)	シマジン (mg/L)	チオホルム (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	ほう素 (mg/L)	ふつ素 (mg/L)	1,4-ジチオ ホリン (mg/L)	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)											
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大

リ. 汚水の処理によって生ずる残さの種類及び1月間の種類別生成量並びに処理の方法の概要

残さの種類	生成量 (t/月)	処理方法の概要	備考
脱水汚泥 (金属水酸化物)	4 (含水率 80%)	フィルタープレスで脱水した汚泥はポリ袋に詰めて自社内保管後、産業廃棄物処理業者に委託処分 収集運搬業者 : ㈱産廃 処分業者 : ㈱産廃センター	産業廃棄物処理委託契約書 (写) 別紙のとおり。

ヌ. 汚水を公共下水道へ排除する方法 (排出口の位置及び数並びに排出先を含む。)

(添付第 2 図のとおり。)

ル. その他参考事項

除害施設建設費	2, 000万円	内訳	自己資金	1, 000万円
			公害防止資金	1, 000万円 (川崎市公害防止資金による)

記入上の注意

(9) 「汚水の処理によって生ずる残さの種類及び1月間の種類別生成量並びに処理の方法の概要」

① 「残さの種類」

除害施設から生ずる各種廃棄物を記入してください。この廃棄物は通常汚泥ですが、その他に廃油、廃酸、廃アルカリなどがありますので残さの種類ごとに記入してください。

② 「生成量」

残さの種類ごとに生成量を記入してください。(除害施設の設計上の能力から判断し、推定量を記入することもできます。) なお、量には必ず水分、油分などの割合をあわせて記入してください。

③ 「処理方法の概要」

残さの種類ごとに、保管方法、収集運搬業者名、処分業者名を記入してください。また、産業廃棄物処理委託契約書の写しがあれば添付してください。

(10) 「その他参考事項」

除害施設の建設費及び調達資金の内訳を記入してください。

４ 下水の量及び水質

イ. 公共下水道への排出口における水量及び水質

排水口別	水量・水質		水 質																	
	汚水量 (m ³ /日)		pH		BOD (mg/L)		SS (mg/L)		ノルマルヘキサン 抽出物質(mg/L)		窒素 (mg/L)		燐 (mg/L)		よう素濃量 (mg/L)		フェノール (mg/L)		銅 (mg/L)	
	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
No. 1 (工程系)	9	13	7	5.8 ~ 8.6																
No. 2 (生活系)	1	1.5																		

水 質																	
亜鉛 (mg/L)	溶解性鉄 (mg/L)	溶解性 マンガン (mg/L)	クロム (mg/L)	ニッケル (mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	カドミウム (mg/L)	シアン (mg/L)	有機リン (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)	ヒ素 (mg/L)					
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大				
0.1	<1.0			0.5	<1.0					0.2	<1.0			0.05	<0.5		

水 質																	
水銀 (mg/L)	アルキル 水銀 (mg/L)	ポリ塩化 ビフェニル (mg/L)	トリクロロ エチレン (mg/L)	テトラクロ ロエチレン (mg/L)	ジクロロ メタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロ ロエタン (mg/L)	1,1-ジクロ ロエチレン (mg/L)	シス-1,2-ジ クロエチレン (mg/L)	1,1,1-トリ クロエタン (mg/L)	1,1,2-トリ クロエタン (mg/L)	1,3-ジクロ ロプロペン (mg/L)					
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大				

水 質																	
チラウム (mg/L)	シマジン (mg/L)	ホバコルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	ほう素 (mg/L)	ふつ素 (mg/L)	1,4-ジメチル (mg/L)	タリイキソ類 (pg-TEQ/L)									
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大								

ロ. その他の参考事項

記入上の注意

(1) 「公共下水道への排出口における水量及び水質」

① 「排水口別」

排水口は原則として工程系下水と生活系下水に分けて記入してください。

② 「下水量」

各々の排水口での量であり、同じ排水口に工程系下水と生活系下水が混合する場合、区分して記入してください。

③ 「水質」

排水口ごとの水質を記入してください。(工程系の下水の場合、除害施設の出口の水質と一致しないことがあります。)

5 用水及び排水の系統

イ. 用水及び排水の系統（添付第 2 図のとおり。）

用排水のバランスシートは、添付第 2 表のとおり。

ロ. 用途別用水量（単位 m^3 ／日）

水源別用水量								
総使用量	公共用水道		その他					海水
	工業用水道	上水道	地表水	伏流水	井戸水	その他	回収水	
10		10						

用途別用水量					
ボイラー用水	原料用水	製品処理用水及び洗浄用水	冷却用水	温調用水	その他
		9			1

記入上の注意

(1) 「用水及び排水の系統」

添付図-2（P56）に用水系と污水系を色分し、公共下水道へ接続する排出口の位置等を明示し記入してください。

(2) 「用途別用水量（単位 m^3 ／日）」

水源別及び用途別水量を各々について通常（日平均）と認められる量を記入してください。

《下水道使用料に関する手続のご案内》

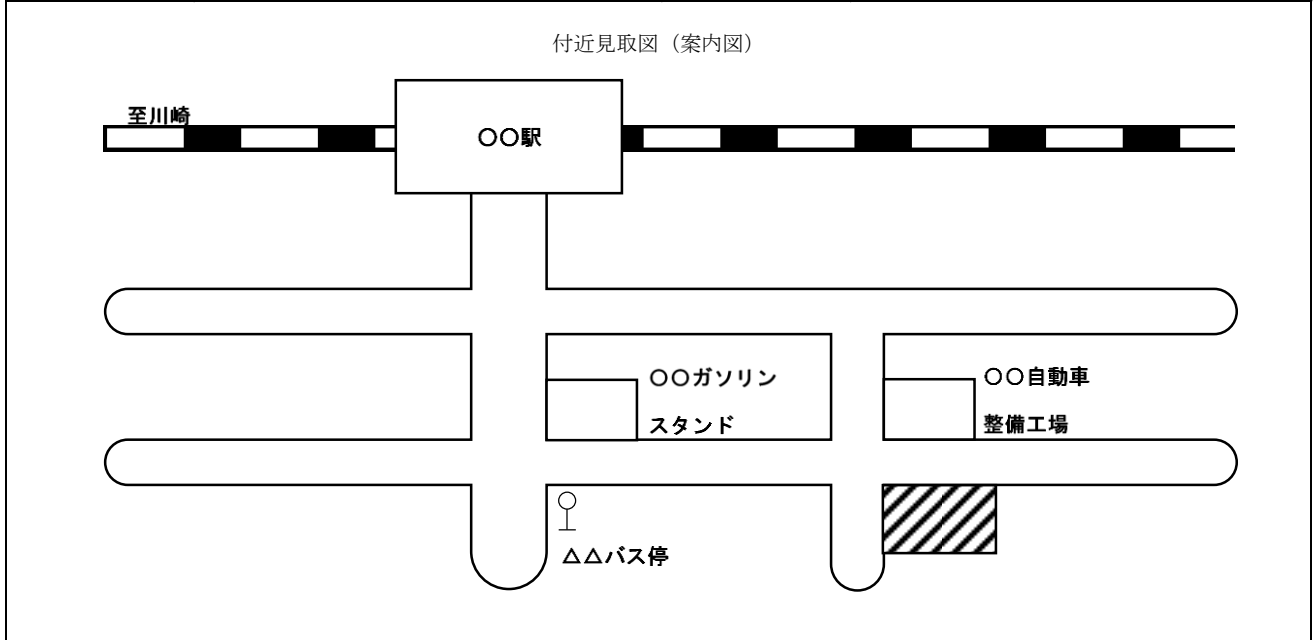
地表水、伏流水、井戸水（地下水）、回収水、海水、雨水利用水、ビル湧水等、水道水・工業用水以外の水源をご利用の方は、その排水をきれいにするための費用として別途下水道使用料がかかります。下水道水質課への届出とは別に、下水道使用料に関する手続を必ず行ってください。

お問い合わせ先：上下水道局サービス推進部営業課（電話 044-200-2872）

別紙（6）

参考事項

資本金	500万円	従業員数	5（8）人
主要製品	自動車部品（めっき製品）	作業時間	午前8時～午後5時
敷地面積	350m ²	建物面積	215m ²
担当部課係 電話	技術係 044-200-2112	担当者	川崎 四郎



記入上の注意

(1) 「従業員数」

届出の対象となっている事業場の従業員数を記入し、本社等がある場合は全従業員数を（ ）内に記入してください。

(2) 「付近見取り図（案内図）」

事業場の付近の道路、目印となるもの、及び鉄道等をわかりやすく記入してください。

届出別紙の添付書類一覧

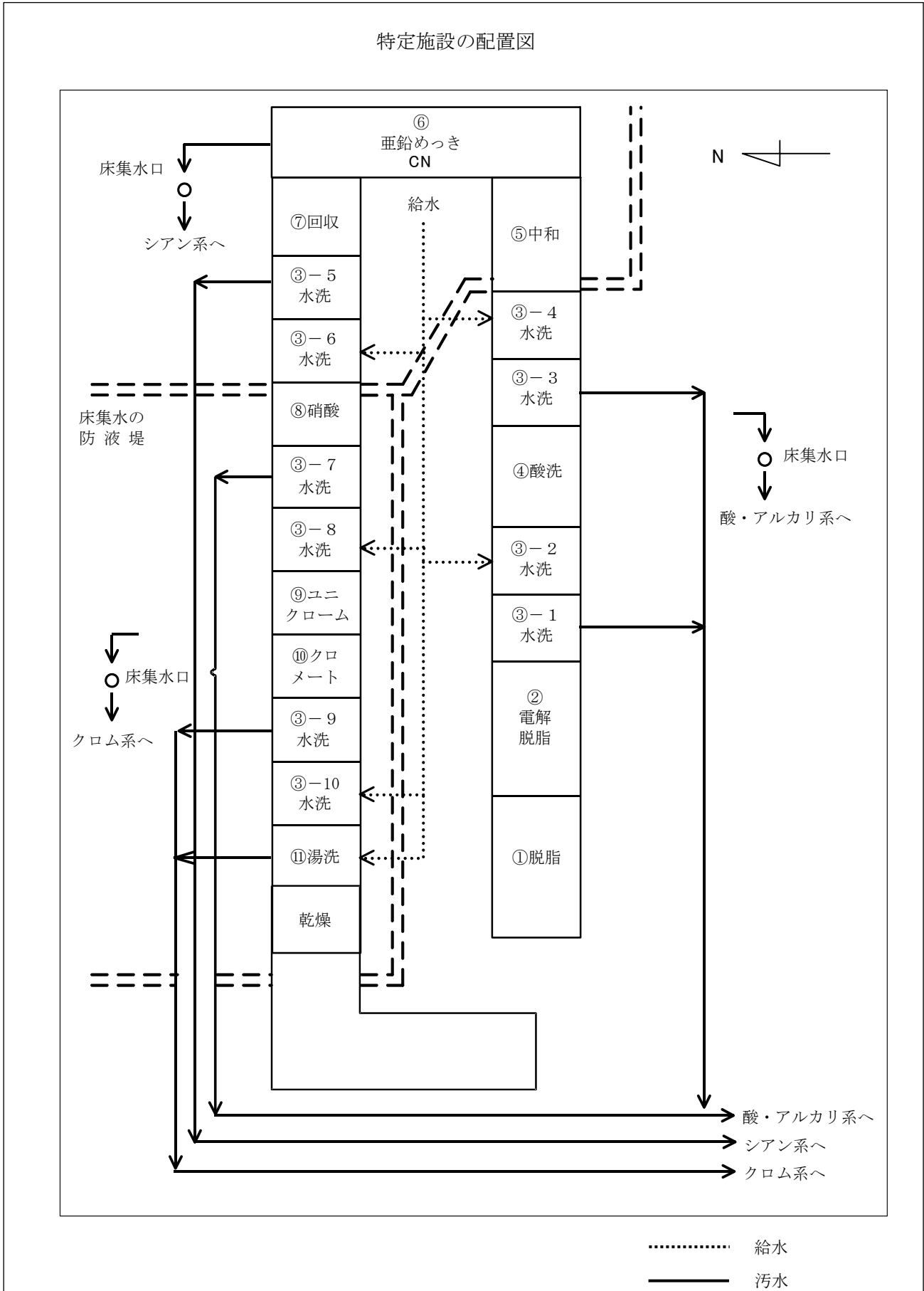
届出別紙に必要な添付書類は、以下のとおりです。

なお、添付書類は、次の記入例を参考にしてください。

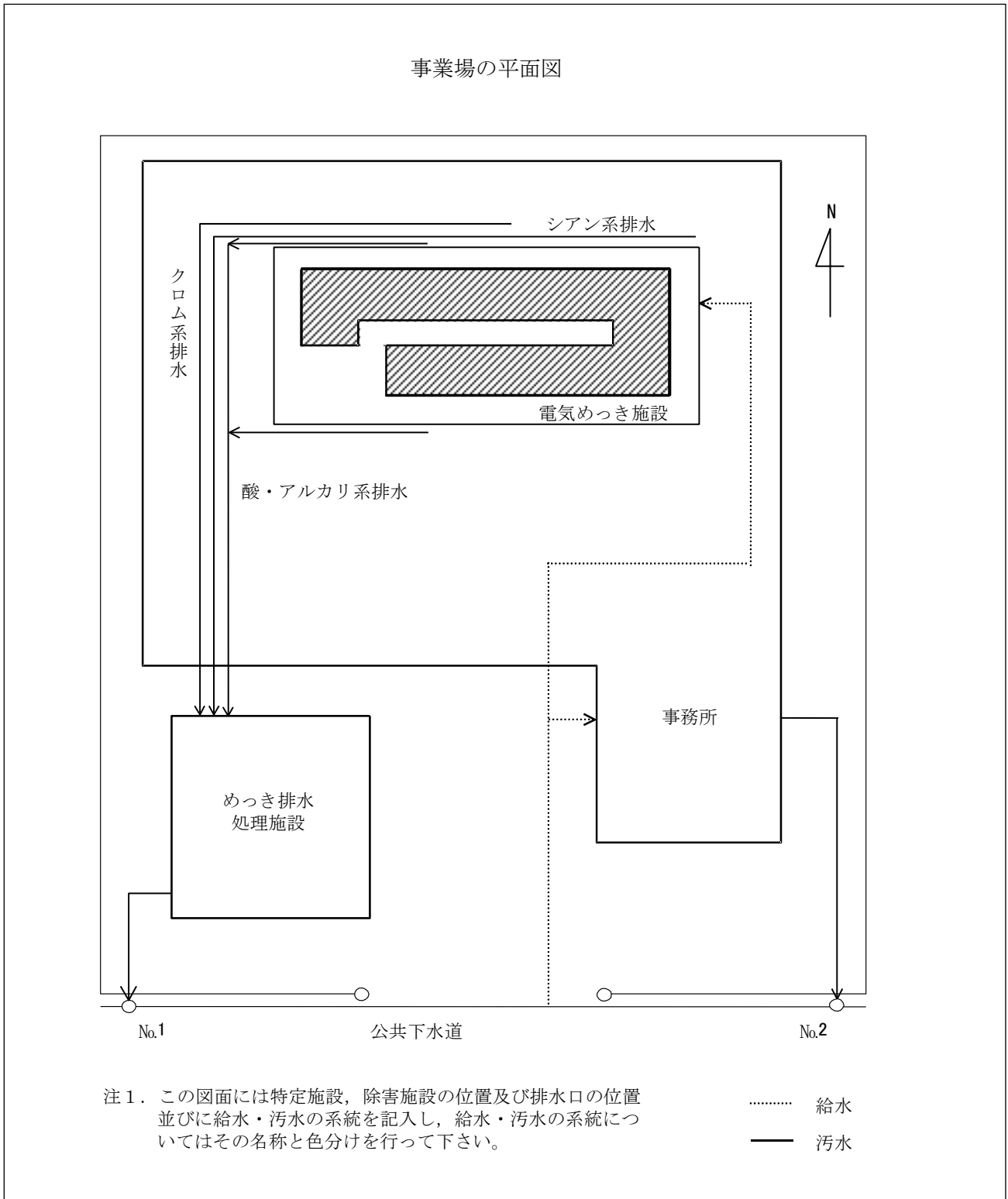
- 特定施設の配置図 (添付図－ 1 の記入例 (P55) 参照)
- 事業場の平面図 (添付図－ 2 の記入例 (P56) 参照)
- 汚水の処理施設配置図 (添付図－ 3 の記入例 (P57) 参照)
- 汚水の処理工程図 (添付図－ 4 の記入例 (P58) 参照)
- 特定施設を含む操業の系統 (添付表－ 1 の記入例 (P59) 参照)
- 用排水のバランスシート (添付表－ 2 の記入例 (P60) 参照)

その他、「産業廃棄物処理契約書の写し」、「SDS等の成分表」等が必要な場合は、添付してください。
また、届出別紙の記入欄に記入しきれない場合は、図表やカタログ等の添付で対応してください。

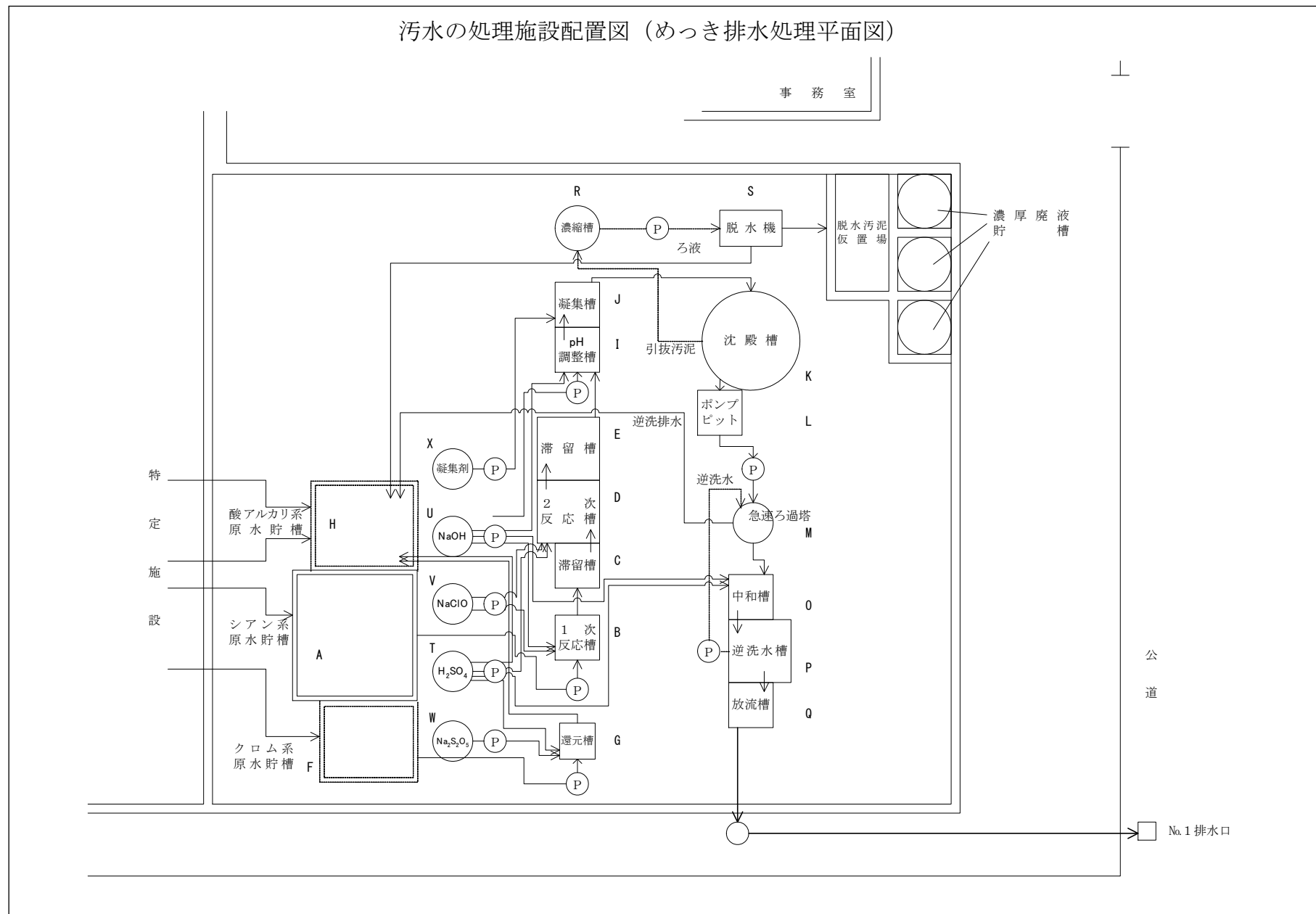
添付図－1 特定施設の配置図の例



添付図－２ 事業場の平面図の例

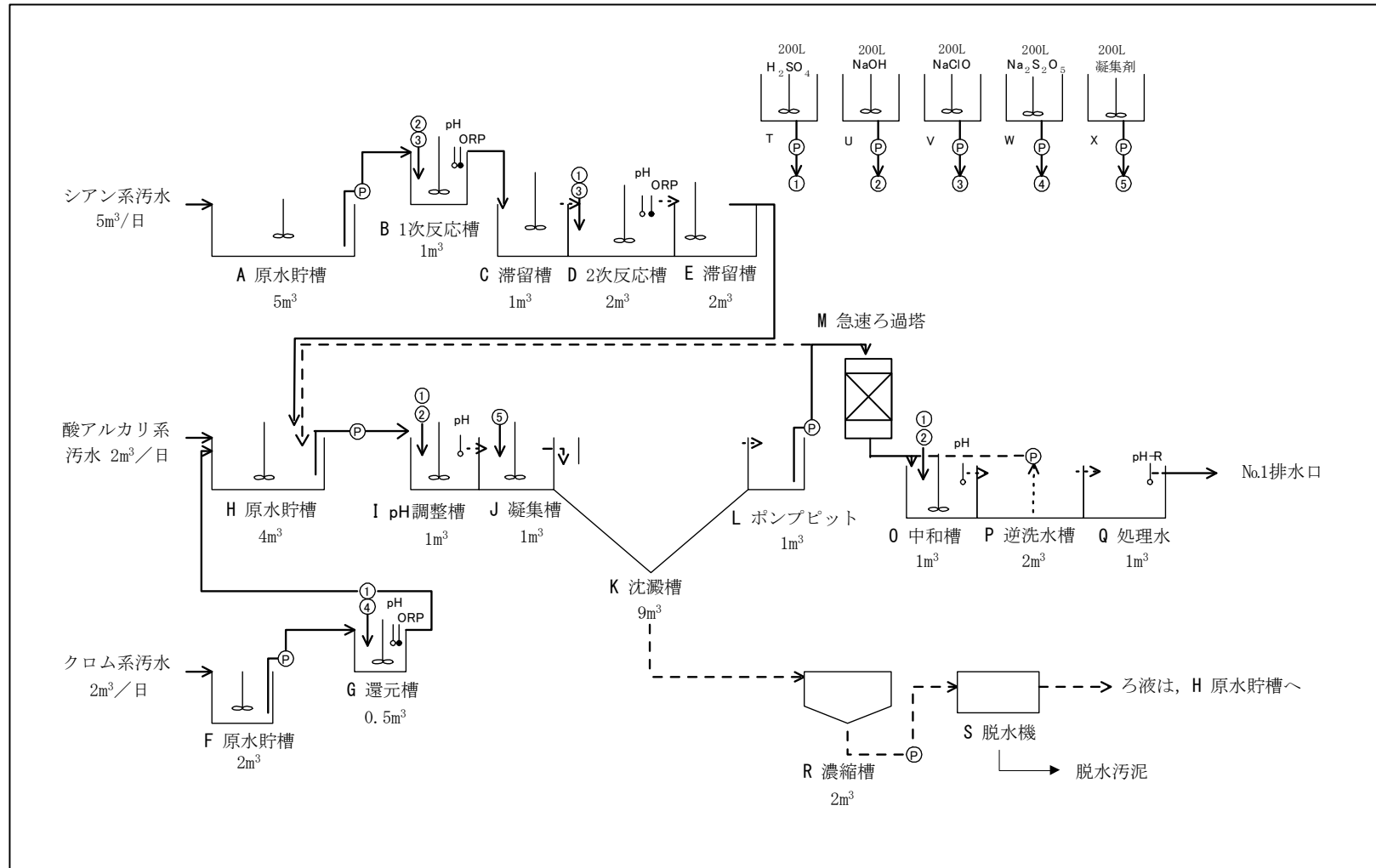


汚水の処理施設配置図 (めっき排水処理平面図)

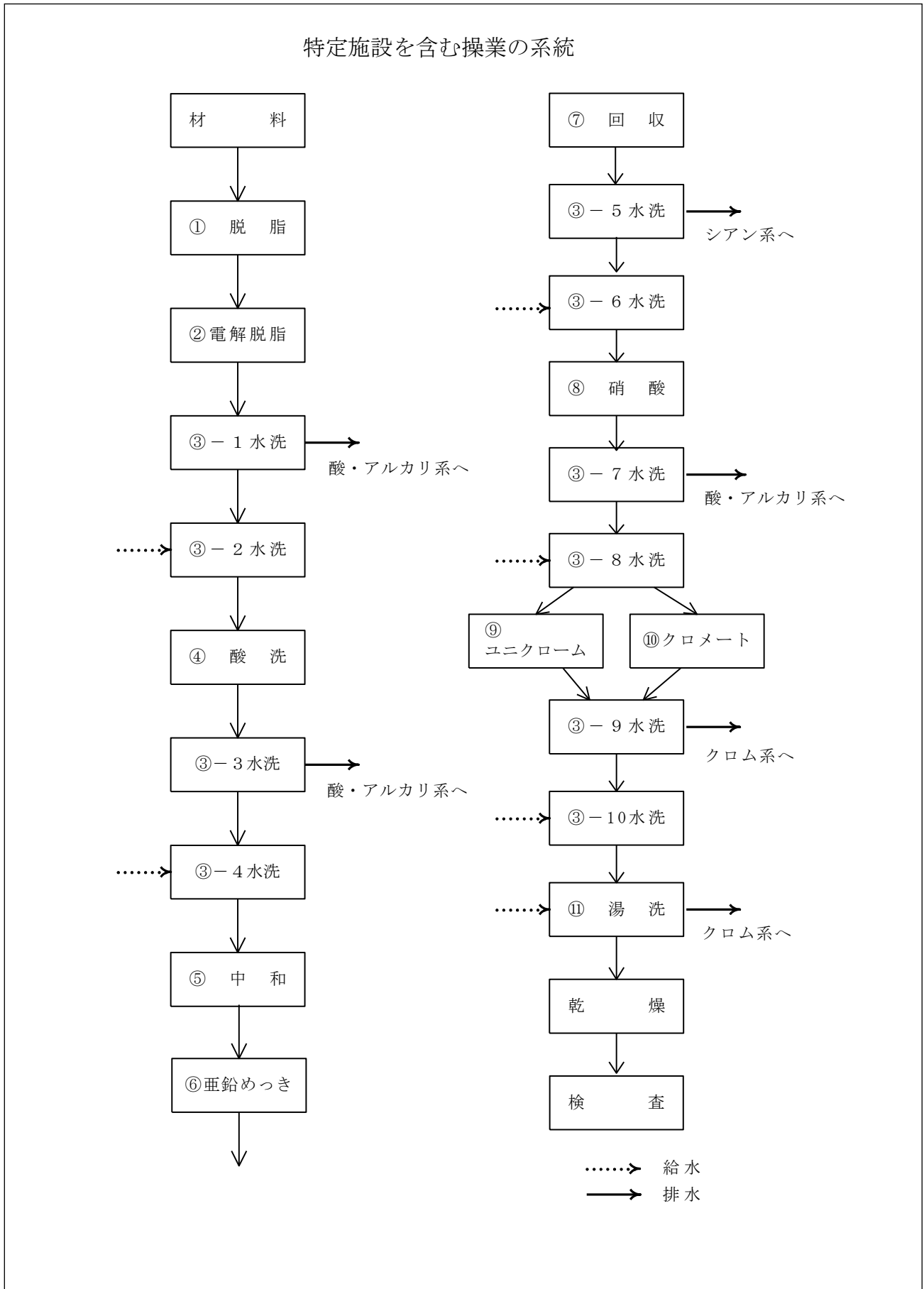


添付図-4 汚水の処理工程図の例

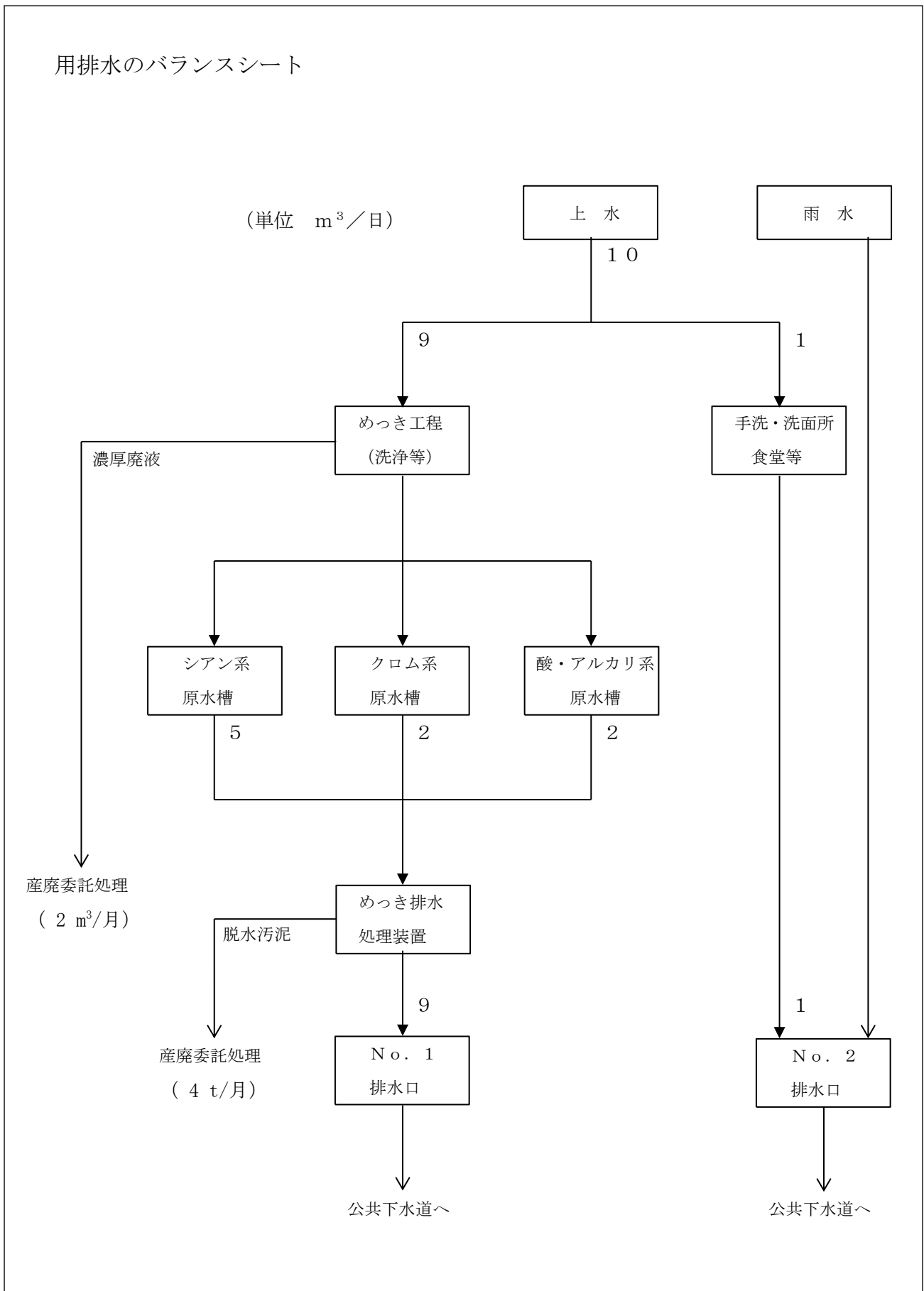
汚水の処理工程図 (めっき排水処理フロー)



添付表－1 特定施設を含む操業の系統の例



添付表-2 用排水のバランスシートの例



(6)

様式第十

氏名変更等届出書

令和〇年 4月 1日

川崎市上下水道事業管理者 殿

申請者

住 所 川崎市川崎区宮本町4番地 電話番号 044-200-2113

氏名又は名称及び
法人にあっては
その代表者の氏名

川崎産業所 株式会社
代表取締役 川崎 四郎

代表者

氏名（名称、住所、所在地）に変更があったので、下水道法第12条の7の規定により、次のとおり届け出ます。

変更の内容	変更前	川崎 二郎	※整理番号	
			※受理年月日	年 月 日
	変更後	川崎 四郎	※施設番号	
			※備考	
	変更年月日	令和〇年 3月 15日		
	変更の理由	人事異動のため (社長の交替)		

備考1 ※印の欄には、記載しないこと。

2 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

記入上の注意

(1) 「年月日」

届出を行う年月日を記入してください。

(2) 「申請者の住所、電話、氏名」

- ① 法人の場合は、本社等の所在地又は当該届出事業場の所在地を記入してください。
- ② 申請者が個人にあつては、屋号を含めて記入してください。
- ③ 申請者が法人にあつては、名称及び代表者の肩書き及び氏名を記入してください。
- ④ 法人の工場等において、その代表者を、法人の代表者から工場等の長等へ変更する場合、代表者は工場等の長等とし、法人の代表者から工場等の長等あての委任状を添付してください。

(3) 「氏名（名称、住所、所在地）」

変更該当しない箇所を抹消してください。なお、文章上補足する必要がある場合、記入例のように字句を加えてください。

(4) 「変更の内容」

変更前後の内容を具体的に記入してください。

(5) 「変更年月日」

変更のあった年月日を記入してください。

(6) 「変更の理由」

具体的に、例えば、社長の交替等と記入してください。

※ 会社の分割、合併により法人番号の変更がある場合は、「氏名変更等届出書」ではなく、「承継届出書（P66）」をご提出ください。

(7)

様式第十一

特定施設使用廃止届出書

令和〇年 4月 1日

川崎市上下水道事業管理者 殿

申請者

住 所 川崎市川崎区宮本町2番地 電話番号 044-200-2112

氏名又は名称及び
法人にあっては
その代表者の氏名

川崎産業所 株式会社
代表取締役 川崎 一郎

特定施設の使用を廃止したので、下水道法第12条の7の規定により、次のとおり届け出ます。

工場又は 事業場の名称	川崎産業所 株式会社 川崎工場	※整理番号	
工場又は 事業場の所在地	川崎市川崎区宮本町3番地	※受理年月日	年 月 日
特定施設の種別	66電気めつき施設	※施設番号	
特定施設の設置場所	添付図のとおり。	※備 考	
使用廃止の年月日	令和〇年 3月 15日		
使用廃止の理由	廃業のため		

備考1 ※印の欄には、記載しないこと。

2 用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とすること。

記入上の注意

(1) 「年月日」

届出を行う年月日を記入してください。

(2) 「申請者の住所、電話、氏名」

① 法人の場合は、本社等の所在地又は当該届出事業場の所在地を記入してください。

② 申請者が個人にあつては、屋号を含めて記入してください。

③ 申請者が法人にあつては、名称及び代表者の肩書き及び氏名を記入してください。

(3) 「工場又は事業場の名称」及び「工場又は事業場の所在地」

当該特定施設を廃止しようとする事業場の名称及び所在地を記入してください。

(4) 「特定施設の種類」

水質汚濁防止法施行令別表第1(P10～14)及びダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第2(P15)に掲げる特定施設番号及び施設名を記入してください。

(5) 「特定施設の設置場所」

廃止した特定施設の位置等を明示した図面を添付してください。

(6) 「使用廃止の年月日」

実際に特定施設の使用を廃止した年月日を記入してください。

(7) 「使用廃止の理由」

転業又は廃業等と具体的に記入してください。

(8)

様式第十二

承継届出書

令和〇年 4月 1日

川崎市上下水道事業管理者 殿

申請者

住 所 川崎市川崎区宮本町6番地 電話番号 044-200-2116

氏名又は名称及び
法人にあっては
その代表者の氏名

川崎産業所 株式会社
代表取締役 川崎 太郎

特定施設に係る届出者の地位を承継したので、下水道法第12条の8第3項の規定により、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	川崎産業所 株式会社 川崎工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	川崎市川崎区宮本町7番地	※受理年月日	年 月 日
特定施設の種類	65酸又はアルカリによる 表面処理施設	※施設番号	
特定施設の設置場所	添付図のとおり。	※備考	
承継の年月日	令和〇年 3月 15日		
被承継者	氏名又は名称		
	住 所	川崎市川崎区宮本町8番地	
承継の原因	借り受け		

備考1 ※印の欄には、記載しないこと。

2 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

記入上の注意

- (1) 「年月日」
届出を行う年月日を記入してください。
- (2) 「申請者の住所、電話、氏名」
 - ① 法人の場合は、本社等の所在地又は当該届出事業場の所在地を記入してください。
 - ② 申請者が個人にあつては、屋号を含めて記入してください。
 - ③ 申請者が法人にあつては、名称及び代表者の肩書き及び氏名を記入してください。
- (3) 「工場又は事業場の名称」及び「工場又は事業場の所在地」
地位を承継した後の名称及び所在地を記入してください。
- (4) 「特定施設の種類」
水質汚濁防止法施行令別表第1(P10～14)及びダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第2(P15)に掲げる特定施設番号及び施設名を記入してください。
- (5) 「特定施設の設置場所」
地位を承継した特定施設が設置されている場所について、特定施設配置図を添付してください。
- (6) 「承継の年月日」
実際に特定施設を譲り受け、又は借り受けた年月日を記入してください。
- (7) 「被承継者の氏名又は名称」・「住所」
特定施設の譲渡人又は貸与人の氏名又は名称及び住所を記入してください。
- (8) 「承継の原因」
譲り受け、借り受け、合併等と具体的に記入してください。

(9)

除害施設新設・増設・改築計画確認申請書

令和〇年 4月 1日

(宛先) 川崎市上下水道事業管理者

申請者 住 所 川崎市川崎区宮本町9番地

商号又は名称 株式会社 川崎センター

代表者名 川崎 花子

業 種 化学工業 電話 (200-2120)

次のとおり申請します。

設置場所 および 使用者	川崎市川崎区宮本町9番地 株式会社 川崎センター 代表取締役 川崎 花子		
施工者	川崎市川崎区宮本町10番地 株式会社 川崎工事 代表取締役 川崎 一 資格 登録番号 第 号 電話(200-2121)		
施設名称	排 水 内 容		
	項 目	単 位	完了後
	1日排水量	m ³ /日	15
	温度	℃	
処理方法	水素イオン濃度 PH		5.8~8.6
	生物化学的酸素要求量 BOD		mg/L
	浮遊物質 SS		mg/L
	ノルマルヘキサン	鉍油類	mg/L
担当者職氏名	抽出物質含有量	動植物油脂類	mg/L
	シアン含有量		mg/L
	クロム含有量		mg/L
系 統	ポンプ場	水処理センター	
受 付	年 月 日	第 号	
確 認	年 月 日	第 号	

注1 太線の中だけ記入してください。

2 この申請書は、工事着手前に必ず提出してください。

3 除害施設の設置に関し、利害関係がある場合は、当該利害関係者の承諾を得てから申請してください。

記入上の注意

(1) 「新設・増設・改築計画」

該当事項以外は抹消してください。

(2) 「年月日」

申請する年月日を記入してください。

(3) 「申請者の住所、商号又は名称、代表者名、業種、電話」

届出を行う者の住所、事業場名（屋号）、代表者名、業種及び電話番号を記入してください。

(4) 「設置場所および使用者」

事業場の所在地、事業場名及びその代表者名を記入してください。

(5) 「施工者」

除害施設に係わる工事を行う施工業者の住所、氏名及び電話番号を記入してください。

(6) 「排水内容」

排水量は当該除害施設からの日平均水量を、水質は処理後の推定値を記入してください。

(7) 「添付図書」

以下の項目について事業場排水調査票（P30）を記入し、必要に応じて添付書類を作成してください。

① 事業場の概要

② 除害施設の計画説明・維持管理計画

(10)

除害施設工事完成届

令和〇年 4月 1日

(宛先) 川崎市上下水道事業管理者

住 所 川崎市川崎区宮本町9番地

商号又は名称 株式会社 川崎センター

代表者名 川崎 花子

次のとおり届け出ます。

確認番号	第 号
設置場所	川崎市 川崎区 宮本町 丁目 9番 号
施工内容	中和処理施設(自動連続式、鉄筋コンクリート耐酸仕上)
施工者	株式会社 川崎工事 代表取締役 川崎 一
着手年月日	令和〇年 3月 10日
完成年月日	令和〇年 3月 31日

完成検査報告書

年 月 日

検査員 職 氏名 印

立会人 職 氏名 印

上記工事について、 年 月 日検査をした結果、申請書のとおり完了したことを報告します。

除害施設工事検査済証 番号	第 号
---------------	-----

注1 太線の中だけ記入してください。

2 工事が完了した日から5日以内に提出してください。

記入上の注意

- (1) 「年月日」
届出を行う年月日を記入してください。
 - (2) 「住所、商号又は名称、代表者名」
届出を行う者の住所、事業場名（屋号）、代表者名を記入してください。
 - (3) 「確認番号」
除害施設新設・増設・改築計画確認申請書の提出時に付与された確認番号を記入してください。
 - (4) 「設置場所」
事業場の所在地を記入してください。
 - (5) 「施工内容」
除害施設の工事等に係わる内容を記入してください。
 - (6) 「施工者」
除害施設に係わる工事を行った施工業者名及びその代表者名を記入してください。
 - (7) 「着手年月日」・「完成年月日」
当該工事の着手及び完了した年月日を記入してください。
 - (8) 「添付書類」
以下の書類を添付してください。
 - ① 除害施設の完成写真
 - ② 水質試験成績書（原水（処理前の汚水）、処理水）
- ※ 完成検査報告書以下の部分は記入しないでください。

(11)

除害施設等維持管理報告書

令和〇年 4月 15日

川崎市上下水道事業管理者 様

所在地 川崎市 川崎区 宮本町1
事業場名 ○○工業株式会社 川崎工場
代表者名 工場長 伊藤 三郎
担当者名 工場管理課 伊藤 四郎
電話番号 044-200-2111

下水道法第39条の2に基づき除害施設の維持管理状況を次のとおり報告します。

1 報告の期間	令和〇年 1月 1日 ~ 令和〇年 3月 31日					
2 使用水量		上水	工水	地下水	他 ()	減量認定 水量
	1月	1,500 m ³	500 m ³	100 m ³	m ³	m ³
	2月	1,700 m ³	550 m ³	90 m ³	m ³	m ³
	3月	1,600 m ³	540 m ³	110 m ³	m ³	m ³
	合計 6,690 m ³	小計	4,800 m ³	1,590 m ³	300 m ³	m ³
3 排水口別排除水量 (排水の種類)	No 1	No 2	No 3	No	No	
合計 6,690 m ³	{ メッキ排水 }	{ 冷却排水 }	{ し尿、食堂等 雑排水 }	{ } }	{ } }	
	1,800 m ³	1,890 m ³	3,000 m ³	m ³	m ³	
4 排水口別除害施設 処理水量 {除害施設名}	No		No	No		
合計 1,800 m ³	{ メッキ排水 処理施設 }		{ } }	{ } }		
	1,800 m ³		m ³	m ³		
5 操業状況	操業日数		除害施設運転日数			
	72 日		72 日 延べ 648 時間			

記入上の注意

(1) 「年月日」

報告を行う年月日を記入してください。

(2) 「所在地、事業場名、代表者名、担当者名、電話番号」

① 事業場の所在地を記入してください。

② 申請者が個人にあつては、屋号を含めて記入してください。

③ 申請者が法人にあつては、名称及び代表者の肩書き及び氏名を記入してください。

(3) 「報告の期間」

指定した期間の月始めから末日までを記入してください。

(4) 「使用水量」

給水の種類別に使用水量を記入してください。減量認定水量は、「排出汚水量減量認定」を受けている場合に、減量対象水量を記入してください。

(5) 「排水口別排除水量」

事業場の全ての排出口から排除した下水の量を記入してください。

(6) 「排水口別除害施設処理水量」

除害施設により処理した量を記入してください。

(7) 「操業日数」

事業場の操業日数で、休業日を除く延べ日数で記入してください。

(8) 「除害施設運転日数」

除害施設を稼働させた延べ日数で記入してください。

6 水質検査結果 (計量証明書を添付してください。)	項目 検査日	銅	亜鉛	全ケム	六価ケム	シアン	pH	
	1月6日	0.05以下	0.25	0.11	0.05以下	0.11	7.9	
	1月20日				〃	0.1以下	7.5	
	1月27日	0.05以下	0.05以下	0.05以下	〃	〃	7.5	
	2月11日	〃	〃	0.15	〃	〃	7.8	
	2月25日				〃	〃	6.9	
	3月8日	0.45	0.05以下	0.05以下	〃	〃	6.8	
	3月22日				〃	0.18	7.1	
7 6の水質検査が水質基準値を超えた原因等	①内容	なし						
	②原因							
	③講じた措置							
	④措置後の水質							
8 特定施設の使用により生じた廃棄物の種類と量	種類	量	処分業者名		処分方法			
	めっき濃厚廃液	6 m ³	〇〇処理業		焼却			
9 汚水処理に用いた薬品	種類	量	種類		量			
	次亜塩素酸ソーダ	900 kg	高分子凝集剤		900 L			
	重亜硫酸ソーダ	450 kg						
	苛性ソーダ	180 kg						
	硫酸	450 kg						
10 汚水処理等により生じた廃棄物の種類と量	種類	量	処分業者名		処分方法			
	汚泥	10 t	〇〇処理業		埋立			
11 有害物質の使用等	ホルム	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	トリクロロエレン	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	シス-1,2-ジクロロエレン	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	ほう素	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
	シアン	<input checked="" type="radio"/> 有・無	テトラクロロエレン	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1,1,1-トリクロロエタン	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	ふっ素	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
	鉛	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	ジクロロメタン	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1,1,2-トリクロロエタン	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1,4-ジクロロベンゼン	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
	六価クロム	<input checked="" type="radio"/> 有・無	四塩化炭素	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1,3-ジクロロプロパン	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		有・無
	ヒ素	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1,2-ジクロロエタン	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	ベンゼン	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		有・無
	水銀	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1,1-ジクロロエレン	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	セレン	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		有・無
12 事業場概要 *3月31日現在 (1~3月分の報告書に記入してください。)	資本金	従業員数		業種				
	4,000万円	210人 (全社 550人)		電気機械器具製造業				
	主な製品、サービス等	プリント基板、コネクタ						
	1年以内に行った除害施設の新設、改築、増設、設備変更の有無、及びそれにかかった概算金額	有 <input checked="" type="radio"/> 無						
13 その他	除害施設：脱水機（F-100型）の点検整備（2月1~3日）							

記入上の注意

(1) 「水質検査結果」

報告期間内に測定した水質を項目別に記入してください。なお、分析を委託した場合は、計量証明書の写しを添付してください。

(2) 「水質が基準値を超えた場合、その原因、講じた処置の内容、措置後の水質等」

水質が基準値以内の場合は「なし」と記入し、基準値の超過があった場合は原因及び措置等について記入してください。

(3) 「廃棄物の種類と量」

廃棄物の種類ごとに、委託処分の場合は、収集運搬業者及び処分業者の名称を記入してください。

(4) 「汚水処理に用いた薬品」

薬品の種類ごとに使用量を記入してください。

(5) 「有害物質の使用等」

使用している物質には有に○印を、使用していない物質には無に○印を付けてください。

